

# いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和七年七月一日 発行

文責：大西  
編集：白川

## 【琴弾公園の今昔物語⑥-1】

### 《銭形砂絵はいつできた？》

令和6年に開かれた『琴弾公園の今昔』ではテーマ毎にコーナーを設けました。一つ目が**【琴弾公園の開設に貢献した人たち】**で、二つ目は**【銭形砂絵はいつできた？】**というコーナーです。銭形砂絵の成り立ちについては、確かな証拠が見つからず現在も不明なままですが、幾つかの説があります。



明治35年（1902年）観音寺町京都写真館発行

- その1 寛永10（1633）年説（1）**  
〈江戸時代初め頃〉丸亀藩主、**生駒高俊**が領内巡視の際、藩主歓迎のため、村人が一夜にして作りあげた。
- その2 寛永10（1633）年説（2）**  
〈江戸時代初め頃〉幕府の巡見使が訪れるので、豊臣復興を願う鋳物師たちが**西島八兵衛**の指揮で「ひょうたん」から「銭形」に作り替えた。
- その3 正保2（1645）年説**  
〈江戸時代初め頃〉丸亀藩主、**山崎豊治**が、干ばつや洪水など自然災害を収めるため、当時使っていた銭を、黄泉の国への渡し賃とし、神仙に願いをかけるため巨大に作った。

（つづく）

## 【琴弾公園クイズ75】

琴弾八幡宮にある藤目儀三郎の銅像は、教え子が建てたとされていますが、その人物の出身校は？

- ① 観音寺小学校  
② 柞田小学校  
③ 大野原小学校

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



寛談維永

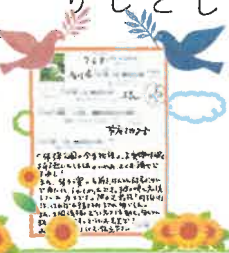
直木賞作家 芦原すなおさん  
からの お返事

私が輝き隊通信をお送りすると芦原さんから『琴弾公園今昔物語』を大変興味深く拝読しましたと、お返事を頂きました。「いやあ、よくお調べですねえ！」「また、琴ヶ濱の名前をほんとに何年ぶりかで目にして嬉しかったです。（令和6年5月号・6月号）子供の頃に応援していた力士です。彼の必殺技〈打掛け〉は、ほればれるような切れ味でした。公園清掃のボランティア活動も本当に頭が下がります。どうかお元気で！皆様によろしくお伝え下さい」とのこと、私も嬉しい気持ちで一杯になりました。（ちづ子）

※御本人のご了承をいただいたうえで掲載しています。

◆ いいまちづくり観音寺輝き隊 ◆

私たちは「琴弾公園の魅力高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。



◆ ◆ ◆ 公園清掃日について ◆ ◆ ◆  
今月の清掃日は**7月7日**です。  
午前八時〜九時（雨天：7月14日）  
琴弾公園の池付近に集合  
みんなでいい汗を流しましょう。  
※問い合わせ080-3211-11962